

学校教育目標	ひとがすき まちがすき いわさきの子					
	(知)ともに学び合い、ねばり強く解決していける子を育てます。 (徳)自分も友達も大好きで、心豊かに正直に生きる子を育てます。 (体)心と体の健康を鍛え、自分や人の生命と体を大切にすることを育てます。 (公)「ひとがすき、まちがすき、いわさきの子」をめざし、地域と豊かにかかわり、共に生きる子を育てます。 (開)様々な人々とのコミュニケーションや体験を通して、日本や世界の文化や歴史を学び、社会の変化に対応できる子を育てます。					
学校概要	創立 90 周年	学校長	小林雅弘	副校長	西山久美子	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 342 人	主な関係校: 岩崎中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	岩崎中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 ～なりたい自分を見つける力～	岩崎中学校 瀬戸ヶ谷小学校 保土ヶ谷小学校 桜台小学校	自ら生活を切り拓いていくために、課題を見つけ、解決しようとする主体的な児童・生徒。 ・ブロックで共通理解した身につけさせたい資質・能力を自分づくりに関する力での習得のために、教育課程作成に関してはブロック内各小学校の管理職と打ち合わせをもつなど、緊密な情報交換のもとに取り組む。 ・授業交流・参観や主幹会議などを定期的に開催し、9年間で育てたい児童・生徒像をブロック内教職員で共有すると共に、成果や課題について共通理解できるようにする。

中期取組目標	○全教育活動を通して、自己有用感に裏づけられた自尊感情を育てます。 ○一人ひとりの子どもにしっかり教え、しっかり引き出す指導を通して、「知」「徳」「体」「公」「開」で示す「横浜の子ども」を育てます。 ○子どもたちが安心して過ごすことのできる、安全な学校づくり、教育環境づくりに努めます。 ○地域・保護者に「開かれた学校」を推進するとともに、学校運営協議会とも連携して子どもの成長を支えます。 ○教育課題に協働して取り組む中で、教職員の資質の向上を図ります。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①実態を把握し、聞く・話す等の学習ルールの定着を図る。②児童の主体性を伸ばすような教育課程の作成に取り組む。③読書・漢字・計算の基礎的基本的な知識の習得や学習に対する姿勢を養う。④学年内での教材研究に努め、人権の視点も意識した授業力の向上を目指す。
担当 研究部	
豊かな心	①挨拶・歩き方・後片付けの三つの“あ”や生活のルールの定着を図るとともに、自分から進んでできるように取り組む。②道徳の授業、YPを活用した指導等の充実により、道徳的実践力を身に付ける。②年間計画に基づき、たてわり活動がより効果的に運営できるように取り組む。
担当 道徳部・児童指導部	
健やかな体	①ねらいを明確にした運動量のある授業づくりに努める。②「いきいきタイム」の実施時期及び内容についての見直し、修正を図る。③学校保健委員会と運動委員会と連携し、休み時間に継続して運動や遊びに取り組むような意欲付けを図る。
担当 体育部・保健指導部	
特別支援教育	①特別に配慮が必要な児童及び個別支援学級の児童についての情報共有・意見交換の場を定期的に設定し、全教職員が共通理解のもと、一貫して指導や対応に当たる。②支援が必要な児童に適切な指導を行うために、外部機関と連携した研修を行い、有効な手立てに関する理解、検証を行う。
担当 特別支援コーディネータ	
児童生徒指導	①学年は個々の児童の様子を共有し、同じ考えでほめ、しかることを確認する。専任とも連携を図り、組織的に対応し、記録を残す。②児童指導部、専任を中心に、児童の細かい変容を敏感にキャッチし、いじめの解決や個々に抱えている困り感を学校全体で共有し見守る。
担当 児童指導部	
学校運営協議会	①学校運営協議会と連携を図り、授業参観や情報交流などを通して、学校や児童の実態の周知と、理解を図る。②日々の教育活動や諸行事への取組等の様子を知らせ、PTAや地域とも連携し、子どもたちを健やかに育てる環境作りのため地域人材の開発に努める。
担当 地域連携担当	
宿泊体験学習	①前年度までの成果と課題を受け、子ども達に自主性を身につけさせるためのプログラムを工夫し、充実感や達成感の向上に努める。②引き続き下学年や保護者及び学校運営協議会等への実施報告といった積極的な周知に取組み、総合的な支援・協力体制の更なる強化を図る。
担当 教務部	
担当	
いじめへの対応	①常日頃から、児童に寄り添った指導と児童理解に努め、保護者とのコミュニケーションも密に図るようにする。②児童の気になる言動については、学年研等で絶えず共有化を図り、状況によっては、管理職、専任からなるチームで共通指導方針を立て、迅速かつ組織的な支援に努める。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①様々な観点・視点からの校内研修を継続的に実施し、教職員層の基礎技能の向上を図る。②キャリアステージにそって設定した目標をもとに面談し、学校づくりへの参画意識の向上を図る。また業務を遂行し、達成につなげることで、職員の自己有用感を高める。③メンターチームの研修は校内人材を講師とし、活用していく。
担当 研修部	